

「咬合理論に基づいたインプラント治療」

講師：大村 祐進先生（山口県・開業）

日時：平成25年12月1日(日)

場所：大阪ブリーゼプラザ 研修室



藤田 幸彦（京都府）

平成25年12月1日 大阪ブリーゼプラザにて「咬合理論に基づいたインプラント治療」と題して大村祐進先生(山口県開業)にご講演いただきました。

お話の中で、印象的であったのが、Dr. はみんなプロであるので、治療においてきれいに審美的に仕上げ、なおかつ患者さんが、メンテナンスしやすくしてあげるの、マニアではなく当然であるということ。

インプラントだけではなく、初期治療、エンド、外科、矯正、コア、形成、印象、バイト、咬合器の扱い、形態、色調、すべてにおいておろそかにするところはなく、長い年月の中で、独自に築き上げられたコンセプトで、治療における迷いが微塵も感じられなかったこと。

治療の最終のゴールのイメージが、いきあたり

ばったりではなく、どの段階においてもあらかじめ考えられていることを痛感しました。

自分と同じ年代の歯科技工士と切磋琢磨することで成長してきたこと、やりとりをスムーズにするのに苦労されたこと、メンテナンスにおいても何が重要なのか、10年経過した症例なども多くだされ、自分のコンセプトの変化や、予後の中で、間違いのないこと等を非常に多くの画像と規格性のあるきれいなレントゲン、口腔内写真を用いてお話いただきました。

日本の歯科界の中でもトップランナーである大村先生のご講演は、当会関西支部の若い Dr. だけでなくベテランの Dr. の方々にも大変刺激になったことは間違いのないと思います。

参加いただいた先生方、ありがとうございました。



